

「『言葉』をもつ鳥、シジュウカラ」

～文章に説得力を持たせるために筆者はどのような工夫をしているだろうか～

本単元で育成する資質・能力

(教科) 根拠を明確にして意見を伝える力 (学校) 主体性, コミュニケーション能力

- 1 日時 令和4年10月5日(水) 12:55～13:45
- 2 学年 第1学年2組 (男子19名 女子18名 合計37名)
- 3 場所 新館1F 1年2組教室
- 4 単元について

○ 教材観

本単元は、中学校学習指導要領(平成29年)の第1学年「C.読むこと」の指導事項「エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」を受けて、筆者の考えの進め方や文章の構成、展開を把握し、その意味づけをすることで、根拠を明確にして、文章の構成や展開によってどのような効果があるか考えることをねらいとして設定する。

本単元では、前提となる知識、研究のきっかけや仮説、検証、結果という文章の構成になっている。筆者の考えの進め方と同じように構成されているため、読者も筆者と同じ考えの道筋をたどって読むことができ、なぜ筆者の仮説が証明されたのかわかる論の展開である。本文を読み、筆者は説得力のある文章にするために、文章の構成や展開についてどのような工夫をしているか考えさせる。また、次の単元である『根拠を示して説明しよう』と結びつけ、本単元で生かしたことをもとに、資料を引用しながら自分の考えを相手に伝える発表原稿を書くことを初めに伝え、見通しを持って学習に取り組ませる。

○ 生徒観

本学級の生徒は、アンケートで次のように答えている。

	肯定的回答
話すとき、書くときに、文章の構成を考えることができる。	65.1%
文章の構成や論理の展開の効果について意識しながら読むことができる。	63.6%
友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり広げたりできる。	81.2%

授業では、自分の考えが相手に伝わるように意識しながら話をしたり、文章を書いたりする活動に積極的に取り組んでいる。だが、以上の結果から、文章の構成を考えながら自分の考えを相手に伝えることは難しいと感じている生徒が多いことがわかる。また、説明文を読むときに、筆者の意見や主張を読みとることはできているが、文章の構成や論理の展開について意識しながら読むことに対して苦手意識を持っている生徒もいる。

生徒たちは、発問に対して自分の考えを持ち、話し合い活動で積極的に意見を交流している。出てきた意見について、意見を付け加えることや質問をすることなどにより、さらに考えを深めている様子である。また、個人で考えることが難しい生徒も、話し合い活動で他者の意見を知ることで自分の考えに気づいたり、新しい意見を出したりするなど、思考を深めることができている。

○ 指導観

指導に当たっては、文章を読むときに文章の構成や論理の展開とその効果を意識させることを目的とし、筆者の考えの進め方により、読者にどのような印象を与えるか考えさせる。

読者が納得するような説得力のある文章にするために、筆者がどのような工夫しているかを考え、構成や展開によって読者に与える印象が異なることに気づかせたい。また、次の単元に結びつけて、本単元で学習した内容を生かして、今後、自分の考えを相手に伝えるときにどのような文章の構成、論理の展開にするのか意識して考えられるよう指導したい。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

	資質・能力	意欲・態度	知識・スキル		
		主体性 (自己を認識する力、 自分の人生を選択する力)	コミュニケーション能力 (表現する力)		
授業の展開の場面で(ミニホワイトボード等を使用して)	レベル1	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問することができる。
	レベル2	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やりとり) ○話を聞いて、内容を深めるために、質問ができる。
	レベル3	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。	(書く・話す・表現 talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やりとり) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。
	レベル4	やりたいことを自ら見つけ、分析し、(大人の力も借りながら)自分たちで実行できる。	少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。		

6 単元目標

○原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。【知技 (2)ア】

○文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えることができる。

【思判表 C読む(1)エ】

○言葉がもつ価値に気づくと共に，進んで読書をし，我が国の言語文化を大切にして，思いや考えを伝え合おうとする。【態度】

7 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
意見と根拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。	「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。	積極的に文章の構成や展開，表現の効果について考え，学習の見通しをもって，文章に説得力を持たせるために筆者がどのような工夫をしているか考えようとしている。

8 指導計画 (全4時間)

教科・領域の本質的な問い

・自分の考えを相手に伝えるときに大切なことは何だろうか。

過程	時間	学習内容	重点	記録	評価規準	資質・能力 (評価方法)
課題の設定	1	本文を通読し，役割によって五つの部分に分ける。	思		本文を役割によって五つに分け，なぜそのように分けるのかを考えている。	【コミュニケーション力】 (話し合い)
単元を貫く問い (探究課題の萌芽)						
説得力のある文章とは，どのようなものだろうか。						
整理・分析	2	「仮説の検証 1」と「仮説の検証 2」について，五つの観点で内容をスライドにまとめる。【本時】	知		意見と根拠がどのようにつながっているかを理解している。	【主体性】(Google スライド) 【コミュニケーション力】 (話し合い)
表現	3	前回まとめたスライドを用いて，文章に説得力を持たせるために筆者がしていた工夫について考え，発表する。	思	○	文章の構成や展開を意識して，五つの観点で内容を読み取り，スライドにまとめて発表している。	【主体性】(発表)

振り返り	4	筆者がどのように文章の構成や展開，表現を工夫したのか考え，説得力のある文章がどのようなものか話合う。	態	○	筆者が文章に説得力を持たせるために，どのように文章の構成や展開，表現を工夫したのか考えようとしている。	【根拠を明確にして意見を伝える力】(ワークシート)
------	---	--	---	---	---	---------------------------

単元を貫く問いの終結

説得力のある文章とは，自分の意見とその根拠が明確であり，「検証の目的」「検証の方法」「結果」「考察」「その結果出てきた問題点」のように，筆者の考えの進め方と同じように論理を展開している文章である。読者は筆者と同じような道筋で考えられ，なぜ筆者の意見が成り立つのか理解して読むことができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

○論理の展開に着目して，筆者が文章に説得力を持たせるためにどのような工夫をしているか考えられる。


(2) 本時の評価規準




- ・自分の考えを支える根拠となる部分を挙げながら，筆者がなぜこのような構成や展開，表現にしたのか考えている。(思・判・表)
- ・文章に説得力を持たせるために，筆者がどのように文章の構成や展開，表現を工夫したのか考えようとしている。(態度)

(3) 準備物

- ・chromebook

(4) 学習の流れ(2時間目/全4時間)

過程	学習活動	指導上の留意事項(○) 予想される生徒の反応(・) 支援を要する生徒への手立て(◆)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 課題の把握 [5分]			
導入	・前時に学んだ文章全体の構成や展開を振り返る。	○本文を五つに分けたとき，どのような役割で分けたかを確認させる。 ・本文は，シジュウカラについての前提となる知識，筆者の研究のきっかけや仮説，仮説の検証，結果(筆者の意見)の五つで分けられた。 ◆ペアで確認させた後，全体で共有する。	

	<p>・本時の学習課題を発表する。</p>	<p>○前時で分けた五つの部分のうち、「仮説の検証1」「仮説の検証2」の論理の展開に着目することを伝える。</p>	
	<p>学習課題</p> <p>仮説の検証1・2をスライドにまとめて、説得力のある文章にするために筆者がどのような工夫をしているのか考えよう。</p>		
	<p>ねらい</p> <p>どのような文章の構成や展開、表現をすると、説得力のある文章になるか考える。</p>		
2 情報の分析 [20分]			
展開 前半	<p>・「仮説の検証1」「仮説の検証2」の内容をスライドにまとめる。</p>	<p>○仮説の検証1・2について、「検証の目的」「方法」「結果」「考察」「問題点(1のみ)」の五つの観点に着目してまとめさせる。</p> <p>◆五つの観点について、該当箇所を本文から探し、線をひかせる。</p> <p>◆事前に用意したスライドの型をつかってまとめさせる。</p>	<p>・筆者の意見とその根拠の関係を理解できている。</p> <p>[知・技]</p> <p>★コミュニケーション力(話し合い)</p> <p></p>
3 情報の整理 [15分]			
展開 後半	<p>・説得力のある文章にするため、筆者がどのような工夫をしているのか考える。</p>	<p>○少人数班で意見を交流し、考察した内容をスライドの最後のページにまとめさせる。</p> <p>○文章の構成・展開に着目して考えさせ、その効果について考察させる。</p> <p>◆スライドの順序を本文の構成とは異なる順序に入れ替えさせ、どのように感じるか考えさせる。</p> <p>・「考察」から始まると、その後から「検証の目的」や「検証の方法」について説明されても頭の中で結びつかない。</p> <p>・この文章は、筆者の考えの道筋と同じ順序で論理が展開しているから、読者は筆者と同じように考察しながら文章を読むことができる。</p> <p>◆筆者の意見と根拠の関係、表現の仕方、図表などの観点からも考えさせる。</p>	<p>・文章の構成や論理の展開、その効果を考えている。</p> <p>[思・判・表]</p> <p>★主体性(Googleスライド)</p> <p></p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠で文末が異なる。 ・図表があることで、文章の内容が視覚的に分かりやすい。 	
	<p>予測される生徒の考え</p> <p>A評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮説、検証、結果から新たにわかった「問題点」についてさらに検証を重ねることで、検証の精度が増し、筆者の意見の説得力が増している。 ・自分の意見を伝えるときは、結論の後にその理由を述べると伝わりやすい。だが、実験のように仮説、検証を行う場合は、その結論に至るまでの順番通りに論理を展開すると、考えの道筋がわかりやすく、読者が納得できる文章になる。 <p>B評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「仮説の検証1」「仮説の検証2」は、筆者の考えの道筋がわかりやすい論理の展開になっていて、読者が理解しやすく、説得力がある。 ・根拠となる事実が図表や写真などでも示されていて、説得力がある。 		
4 次回予告、振り返り。[10分]			
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 	○今回の授業で学んだことを観点をもとに振り返らせる。	
	<p>生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開の仕方によって相手に与える印象が違うことがわかった。 ・今後、異なる構成の説明文も読んで、どのような論理の展開の仕方なのかを知り、その効果は今回学習したもの以外にもあるのかを知りたい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の授業を次回の授業につなげる。 	○今回制作したスライドを次回他の班に発表することを伝える。	

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	説得力のある文章にするために、筆者がどのような工夫をしていたか考え、その工夫の効果や意味を考察することができる。
B（合格）	説得力のある文章にするために、筆者がどのような工夫をしていたか考えることができる。
C（乗り越えさせたい実態）	本文がどのような構成で書かれているか理解することができる。

(5) 板書計画

単元名

『言葉』をもつ鳥，シジュウカラ

学習課題

仮説の検証1・2をスライドに
まとめて，説得力のある文章にするために筆
者がどのような工夫をしているのか考えよ
う。

ねらい

どのような文章の構成や展開，表
現をすると，説得力のある文章になるか考え
る。

〈五つの観点〉

- ① 「検証の目的」
- ② 「検証の方法」
- ③ 「結果」
- ④ 「考察」
- ⑤ 「問題点(仮説の検証1のみ)」